

巻 頭 言

「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会」は、2005年6月の宇都宮市を皮切りに、京都市、横浜市、東京都、岡山市において過去5回開催されてきました。第6回大会は新潟市において開催することになりました。全国各地から参加される皆様方に、開催地を代表して歓迎と感謝の意を表します。

超高齢社会や、環境問題、まちなかの活性化、健康づくり、さらには災害に強いまちづくりなど社会的課題を解決するために、地域社会に快適な「人の移動」を担保する「人と環境にやさしい交通」が益々求められています。「クルマ中心」のまちづくりから、子供から高齢者や障害者を含む誰もが快適に利用できる移動手段が存在し、快適に歩けるまちづくりへ転換する必要があります。国の「交通基本法」制定に向けて多くの方が努力を続け、国会に上程されましたが、廃案となったことは誠に残念です。

本県においては、2014年北陸新幹線の長野・金沢間開業により、沿線地域の活性化が期待できる一方、並行在来線（えちごトキめき鉄道㈱）や、ほくほく線（北越急行㈱）のサービス水準の低下、また上越新幹線の活用・利用促進などが課題とされています。鉄道在来線、新潟空港の活性化を始め、都市の魅力アップ、観光イベントなど官民一体となった取り組みが必要です。

新潟市は、人口81万人を擁する本州日本海側唯一の政令指定都市であり、都市計画が目指す都市の姿を「田園に包まれた多核連携型都市」としています。交通分野では、新潟駅付近の連続立体交差事業と駅周辺整備を進めているとともに、公共交通のネットワーク強化と利用促進に努めています。このような中、新たなバスシステムとして、全市的なバス路線の再編に併せたBRT（Bus Rapid Transit）の導入を計画しており、2014年度の暫定運行に向け取り組んでいます。一方、過度な自動車依存からの転換を目指して、「公共交通や自転車で移動しやすく快適に歩けるまちづくり条例」をこのたび制定しました。同様な施策は、既に京都市、金沢市などで行われています。

県内の3市（新潟市、三条市、見附市）は、外出しやすく歩きたくなるまちづくりを基本にした「健幸なまち（スマート・ウェルネス・シティ）」を目指して活動しています。わが国ではクルマ社会に直接ムチを振ることは受け入れがたいのが実態です。そこで、まずは快適に歩け、自転車や公共交通で移動しやすくするまちづくりの施策を強力に進め、それが市民に受け入れられることが自動車依存からの転換を促すことにつながると考えます。

第6回全国大会では、全国の関係者がいま一度新潟の地に参集し、新潟市民との交流を通して、「人と環境にやさしい交通」を目指して活発な議論や提言をしていただき、意識の変革や施策の実現に向けた新たな一歩となることを期待しています。

長岡技術科学大学 名誉教授 松本昌二

（第6回「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会」in 新潟 実行委員長）

第6回新潟

目 次

1. 新たな交通システム

403・404大研修室、座長：古川 洋、副座長：服部重敬

No	件 名	氏 名	所 属	ページ	発表時刻
1	鉄道直通運転を実現する100%低床車	大野真一	交通まちづくりの広場	1	10:15
2	太陽光発電で走るLRT(乗用模型)の製作と走行実験	亀谷崇樹 鈴木源治 小畑きいち 毛塚博史 勝間ひでとし	東京工科大学、多摩美術大学 東京電機大学 青山学院大学 東京工科大学 湘南LRT研究グループ	3	
3	フランスの高度サービスバス(BHNS)について	古川 洋	(株)アンジェロセック	5	11:35
4	ディジョン市のLRTについて	ジャンピエール ラガリュ	(株)アンジェロセック	7	
5	LRTと都市のデザインの相互影響	アントワヌ ソラ	(株)アンジェロセック	9	1件当り 発表10分 質疑1分
6	都市部の高サービス水準バス(BHLS)とLRT(トラム)の導入を比較する	松本昌二	長岡技術科学大学	11	
7	生まれ変わるトロリーバス	森 五宏	(N)KOALA	13	総合討論 14分
8	大型電動低床フルフラットバスの試作開発と都市内での試走評価研究	西山敏樹、清水 浩	慶應義塾大学	15	
9	ソーラーエネルギー・廃線軌道敷を利用した自動運転バスシステム	勝間ひでとし 浅井 博 石川 洵 亀谷崇樹 小畑喜一 三浦 真	湘南LRT&Holography研究G 早稲田大学 石川光学造形 東京工科大学 青山学院大学 湘南LRT	17	11:40
10	LRT - 2012年の動向	服部重敬	都市交通研究家	19	
11	LRTの実現方策	阿部 等	(株)ライトレール	21	12:45
					1件当り 発表10分 質疑1分
					総合討論 10分

2. 地域の取組み(交通まちづくり全般)

307・308研修室、座長：出町 敦、副座長：宮沢康則

No	件 名	氏 名	所 属	ページ	発表時刻
1	「歩く」ことを基本とした「健幸」なまちづくり	佐藤秀一、細川與司勝 松本昌二	新潟県見附市 長岡技術科学大学	23	10:15
2	はまなす「地域交通」研究会の取り組み	阿部元良	はまなす「地域交通」研究会	25	
3	観光ボランティアガイドの意義 ～まち歩きをとおして～	八木 洋	新潟シティガイド	27	11:35
4	横浜にLRTを走らせる会の活動	清水康二	(N)横浜にLRTを走らせる会	29	
5	「いちげんさん」にもわかりやすい公共交通に関する一考察	小美野智紀、高島亮太 藤村建一郎	都電網研究会	31	1件当り 発表10分 質疑1分
6	「LRT導入と街づくり」をテーマとした学生向けケーススタディー授業結果の考察	小畑きいち 勝間ひでとし 亀谷崇樹	青山学院大学 元多摩美術大学 多摩美術大学	33	
7	人と公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現を目指す京都市	岩村基秀	京都市	35	総合討論 14分
8	第11回全国路面電車サミット2012 大阪・堺大会を終えて	福井隆一郎、池田昌博	第11回路面電車サミット2012 大阪・堺大会実行委員会事務局	37	
9	大阪市交通局の再編、公共交通に関する緊急意見書	池田昌博、森 五宏 重田裕章	(N)KOALA	39	11:40
10	水戸まちなかフェスティバルにおけるトランジットモール実施について	佐田朋義	スマートまちづくりフォーラム	41	
11	福井における交通とまちづくりに関する一連の取り組みについて	清水省吾	(N)ふくい路面電車と まちづくりの会	43	12:45
12	滋賀県での新交通システム導入に向けた検討状況について	芝 久生	滋賀県	45	
					1件当り 発表10分 質疑1分
					総合討論 10分

3. 地域の取組み(鉄道・自転車等)

302研修室、座長：北村秀哉、副座長：松原光也

No	件 名	氏 名	所 属	ページ	発表時刻
1	自転車のまち“新潟”をつくろう ～自転車の市民権確立の活動～	岩間正吉 高橋正良	自転車のまち“新潟”の会	47	10:15
2	長岡市におけるノーマイカーデーへの参加意識要因に関する分析	藤武麻衣、佐藤可寸志 土屋 哲 三本 諒	長岡技術科学大学 鳥取大学 (株)ネクスコ・エンジニアリング新潟	49	
3	移動手段として選択される公共交通ネットワークへの再構築 ～京都都市圏の鉄道網についての考察～	芦川 圭 畑中則宏 清水省吾 細口光博 尹 鐘進、松原光也	(N)KOALA 大阪市交通局 (N)ふくい路面電車とまちづくりの会 西日本旅客鉄道(株) 京都大学	51	11:35
4	四条通における軌道系交通機関の導入提案	大室成央 足立敏和 跡部拓己 伊原 薫 尹 鐘進、松原光也	東京空港交通(株) 京都府 (独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構 (一社)交通環境整備ネットワーク 京都大学	53	
5	民学連携による新しい観光交通システムの構築 -「京都観光ひるバス」実証運行の仕組み	余 紀薫、松原光也 中川 大、松中亮治 清水 彰	京都大学 京都大学 京都まちづくり交通研究所	55	1件当り 発表10分 質疑1分
6	食堂車と鉄道・まちの活性化 ～明知鉄道の事例～	小倉沙耶	(N)全国鉄道利用者会議	57	
7	自転車走行空間のネットワーク構築に向けて -宇都宮市内国道4号車道への走行位置明示-	小路泰広 古池弘隆	国土交通省 宇都宮国道事務所 宇都宮共和大学	59	11:40
8	ポタリングは日本の自転車界を平等にするか?	Peter.F.Smith 古池弘隆	宇都宮大学	61	
9	高速道路と地下鉄線の延伸及び軌道系東西交通の三位一体方式による推進	石原猛男	さいたま市の 環境と公共交通システム研究会	63	12:45
10	近鉄内部・八王子線の現状と存続に向けた課題 -拙速なBRT化への警鐘	堀内重人	運輸評論家	65	
11	高雄市の軌道系都市交通の現状と北総線への応用 -北総線の運賃値下げに向けた一考察	堀内重人	運輸評論家	67	総合討論 10分
					1件当り 発表10分 質疑1分
					総合討論 10分

4. 地域の取組み(バス・デマンド交通等)

6階多目的ホール、座長：大井尚司、副座長：佐藤 修

No	件名	氏名	所属	ページ	発表時刻
1	地方都市における公共交通を利用したまちづくり ～徳島県での活動を通して～	加藤研二	阿南工業高等専門学校	69	10:15
2	地域の中での公共交通とは？	縷 恵子	茅野山・早通生活交通協議会 (新潟市)	71	11:35
3	三条市におけるデマンド交通導入社会実験	渡邊将一郎	エヌシーイー(株)	73	1件当り 発表10分 質疑1分
4	インターネットを使った地域公共交通改善支援の取り組み について	阿部由紀江	新潟市 都市政策研究所	75	
5	地域住民の力で走らせるコミュニティバス	長島亜紗子	(N)中越防災フロンティア	77	総合討論 14分
6	公共交通の維持における住民参画の方法の模索 ～大分市「ふれあい交通」における取り組みから～	大井尚司	大分大学	79	
7	孝行デマンドバスの研究開発	古賀詳二、板野 梢	コガソフトウェア(株)	81	11:40
8	地方都市コミュニティバス政策に対する利用者意識に関する 考察	藤野大地、秋山孝正 井ノ口弘昭	関西大学	83	12:45
9	smart transfer「快適な移動」を創出するバス検索の今 ～実録：新潟市『乗換案内』導入の道程	井上佳国	ジョルダン(株)	85	1件当り 発表10分 質疑1分
10	地方コミュニティバス導入の財政的障害 路線バス維持費の特別交付税措置を考える	光成卓明	RACDA、岡山弁護士会	87	
11	沖縄本島における「コミュニティバス」 ～なぜ本土のように定着しないのか～	前田善弘	(N)全国鉄道利用者会議	89	総合討論 10分

5. 交通政策・分析・応用

411美術工芸室、座長：室田篤利、副座長：板谷和也

No	件名	氏名	所属	ページ	発表時刻
1	ナビゲーションサービスのデータ分析による交通網最適化	太田恒平	(株)ナビタイムジャパン	91	10:15
2	交通施策評価のための統合型シミュレーション	友部篤志、藤井秀樹 吉村 忍、和泉 潔	東京大学	93	11:35
3	地域公共交通事業の評価	室田篤利	(株)三菱総合研究所	95	1件当り 発表10分 質疑1分
4	LRT路線の需要を「DID人口密度と路面電車路線の輸 送密度」の回帰式から簡便に推測する方法	高井憲司	仙台高速市電研究会	97	
5	ソーラースワンボート (自然エネルギーの水上交通への応用)	上野康男 勝間ひでとし	個人研究者(日本大学 共同研究者) 湘南LRTグループ	99	総合討論 14分
6	地域公共交通分野におけるPFI/PPP活用可能性に ついて	長谷部正道	(株)大和総研(神戸大学)	101	
7	交通行動パターンに基づく都市圏交通実態の比較分析	長谷川陽平、秋山孝正 井ノ口弘昭	関西大学	103	11:40
8	岩国空港開港に伴う広島～東京間経路選択の比較	園部貴之	ジャーナリスト	105	12:45
9	アメリカの公共交通と自動車産業	湯川創太郎	滋賀県立大学 環境共生システム研究センター	107	1件当り 発表10分 質疑1分
10	欧州の鉄道政策と日本への示唆	黒崎文雄	(一財)運輸調査局	109	
11	わが国における鉄道の上下分離で考慮すべき論点	板谷和也	(一財)運輸調査局	111	総合討論 10分

付 録

No	タイトル	氏名	所属等	ページ
1	新潟市におけるまちづくりと交通政策について	松田暢夫	新潟市	113
2	新潟市公共交通及び自転車移動しやすく快適に歩けるま ちづくり条例		新潟市	115
3	交通新聞2012.6.18 交通事故	宇都宮浄人	関西大学	117
4	交通新聞2012.10.22 トラム開業			118
5	LRT都市サミット熊本2012 サミット宣言			119
6	第11回全国路面電車サミット2012 大阪・堺大会 大会宣言			120
7	新交通システム推進議員連盟(通称:LRT推進議連) 会員名簿			121
8	内田敬之さんの逝去を慎む	竹内佑一	(特活)エコエネルギーによる地域 交通システム推進協会(AREEV)	123
9	内田敬之さんの逝去を悼して	岡 将男	全国路面電車ネットワーク 運営委員長	125